



Title	自由
Author(s)	
Citation	OUFCブックレット. 2018, 13, p. 41-49
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71859
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

自由

1号 (1959.12) ~ 51巻2号 (2009.2), 東京: 自由社
18巻1号 (1976.1) ~ 24巻12号 (1982.12)
大阪大学附属総合図書館 (調査: 岡野翔太, 2018年7月)

18巻1号~2号 なし

18巻3号 (1976年3月)

孤独の人・毛沢東 (桑原寿二)

中国・ソ連の現実 (岩沢伸一)

18巻4号 (1976年4月)

周恩来首相の死

18巻5号 (1976年5月)

再燃した中国の権力闘争

18巻6号 (1976年6月)

天安門の青天白日旗と蝶恋花

四・五清明暴動と国府の反応

日本とソ連からみた天安門事件と中国の今後 (M・チタレンコ, 中嶋嶺雄)

18巻7号 (1976年7月)

「紅」か「専」か, 中・ソのジレンマ (森永和彦)

18巻8号~9号 なし

18巻10号 (1976年10月)

一九三一年から七六年に至るアメリカの中国政策の変遷 米国外交姿勢の典型表現の軌跡 (川島弘三)

18巻11号 (1976年11月)

毛沢東の死と台湾 (宋重陽)

毛死後の中ソ関係 (原子林二郎)

中国の天変地異

18 卷 12 号 (1976 年 12 月)

中国製アヘン三九牌

江青と毛沢東：太后支配を狙った女性 (伊原吉之助)

19 卷 1 号～2 号 なし

19 卷 3 号 (1977 年 3 月)

鄧小平の復権はマダマダ

続・鄧小平の復権？

中ソ両国の日本をめぐる論調

19 卷 4 号～5 号 なし

19 卷 6 号 (1977 年 6 月)

中国，史上空前の大旱ばつ

中国ブームの中の偏向発言：異常な発言のかずかず

19 卷 7 号 (1977 年 7 月)

周恩来臨終の“真相”

19 卷 8 号 (1977 年 8 月)

華国鋒はよろめいている

中国で、いま何が起きているのか：ソ連側からみた中国の権力闘争

(M・ガガーリン)

19 卷 9 号 (1977 年 9 月)

鄧小平ついに返り咲く

重大な危険をはらむ中国の政策／「三民主義」擁護の壁新聞出現

19 卷 10 号 (1977 年 10 月)

鄧小平復活の中の中国 (森永和彦)

19 卷 11 号 (1977 年 11 月)

『巷説』華国鋒の生母・華玉

鄧小平再登場後の中共 (康銘淑)

華国鋒攻撃の壁新聞 「中華週報」

- 19 卷 12 号 (1977 年 12 月)
中共政治常務委五人衆
野心満々の鄧小平 (康銘淑)
興味深い『反革命分子』判決 「雲南省思茅地区中級人民法院」 布告
- 20 卷 1 号 (1978 年 1 月)
荒れてます！ 中国大陸
- 20 卷 2 号 (1978 年 2 月)
『人民日報』の珍投書
知っておいて損にならぬ台湾事情
中共の『国際情勢報告』(黄華)
- 20 卷 3 号 (1978 年 3 月)
嘘・ホント中国の人口九億？
- 20 卷 4 号 (1978 年 4 月) なし
- 20 卷 5 号 (1978 年 5 月)
久方ぶりの台湾 (加瀬英明)
中華民国の人権に関する報告 (アメリカ国務省)
中共「革命委員会」人事 (康銘淑)
新情勢下で日本外交を考える (上) 今こそ日米の盟邦関係を確認し
て、中ソ両国に対する明確な姿勢を確立すべきである (入江通
雅)
- 20 卷 6 号 (1978 年 6 月)
強大国・中国の威嚇侵犯
尖閣諸島侵犯事件と安保 (入江通雅)
中国による領海侵犯事件に思う (小山内高之)
貿易プラス政治・中国市場の評価 (E・カチューラ)
『幹部政策』に関する講和 (鄧小平)
ソ連専門家のみた中国 変わりつつある中国 (丸毛忍)
- 20 卷 7 号 (1978 年 7 月)
尖閣島か、釣魚島か？ (オレグ・グレボフ)

「五期人代会」以後・機構と経済（康銘淑）

「五期人代会」以後・人事動向（項廻光）

20 卷 8 号（1978 年 8 月）

華僑追放・そのなかで...（森永和彦）

危険な干渉・華僑問題をめぐる中国とベトナム（M・ゲオルギエフ）

ブレンジンスキー訪中と中国（E・カチューラ）

中共における不正と腐敗（『中央日報』）

中共の壁新聞（『マスコミ』を考える会）

20 卷 9 号（1978 年 9 月）

日中正常化は日ソ対立への道（V・グドリャフツェフ）

康生批判から華・鄧の暗闘まで（高節）

腑に落ちない中国の態度（酒伊みつる）

20 卷 10 号（1978 年 10 月）

日中友好条約・その政治的意義（入江通雅）

日中友好条約の締結に想う

「毛沢東批判」の開始（康銘淑）

中国の軍人に対する思想工作（B・ゴルバチェフ）

20 卷 11 号（1978 年 11 月）

日中以後の中ソ抗争（森永和彦）

北京の反ソ主義（B・ソボロフ）

中国指導部の権力争い（朱文琳）

20 卷 12 号（1978 年 12 月）

甘くないこれからの日中関係

日中平和友好条約後の韓半島（朴錫均）

華政権の経済十年計画（鄭竹園）

中共とベトナム抗争（陳慶）

江青・女帝の夢（伊原吉之助）

21 卷 1 号（1979 年 1 月）

中ソの対決と日本（森永和彦）

日中友好平和条約の波紋（田駿）

北京の挑発（I・アレクサンドロフ）

中国ブームのかげに（M・デムチェンコ）

中国の壁新聞：毛沢東、華国鋒批判の民の声（『マスコミ』を考える会）

江青・女帝の夢（下）（伊原吉之助）

21 卷 2 号（1979 年 2 月）

「日米中」三国体制と日本の責任

中国の人権侵害（張旭成）

21 卷 3 号（1979 年 3 月）

中国政治犯の悲惨な状況（国際アムネスティ調査報告）

21 卷 4 号（1979 年 4 月）

中国の変貌と東アジアの安全保障：台湾海峡をめぐる戦略情勢（川島弘三）

鄧副首相のテンポ（A・ペトロフ）

21 卷 5 号（1979 年 5 月）

中越戦争の意義（森永和彦）

「毛沢東思想」の破産（姜新生）

【読者の主張】中国の平和観（板橋隆彦）

21 卷 6 号（1979 年 6 月）

半島をめぐる中ソの抗争（森永和彦）

「日中条約」で泣く日本（黄天才）

21 卷 7 号（1979 年 7 月）

朝日新聞に見る中国と社会主義神話の崩壊（佐桑徹）

中国大陸の近代化とその隘路（鄭竹園）

21 卷 8 号（1979 年 8 月）

中国とソ連は必ず妥協する

21 卷 9 号（1979 年 9 月）

台湾の将来・四つの方向（M・カプラン）

短かった北京の春

この目でみた中国とボル・ポト派（アジア仏教徒代表団）

21 卷 10 号（1979 年 10 月）

鄧小平ら「復活派」の実験掌握（康銘淑）

華国鋒・鄧小平両派の暗闘（高節）

日中条約一周年（E・カチューラ）

21 卷 11 号（1979 年 11 月）

鄭教授の“中国観察”

壁新聞の語る華・鄧の争い（葉洪生）

中国の司法制度（毛沢山）

台湾からみた大陸中国の現状（鄭竹園）

大國中ソの抗争とカンボジア（森永和彦）

21 卷 12 号（1979 年 12 月）

ある受難の毛沢東

台湾は独立すべきではないか（林三郎）

22 卷 1 号（1980 年 1 月）

中国版“助郷制度”

22 卷 2 号（1980 年 2 月）

大平訪中，大字報

中国の新禁句毛沢東讃歌『赤い太陽』

中国は台湾に“完敗”した！大陸に三民主義の嵐（木屋隆安）

中国共産党が政權を握った前後

22 卷 3 号（1980 年 3 月）

人民大会堂の“恋物語”

22 卷 4 号（1980 年 4 月）

毛沢東の「三大革命運動」（張敬文）

米国の対華兵器売却再開（中央日報社説）

22 卷 5 号（1980 年 5 月）

劉少奇前国家主席の名誉回復（鄧小平）

22 卷 6 号（1980 年 6 月）

楊得志・「総参謀長」就任の背景（康銘淑）

四人組事件・権力闘争の極致（項廻光）

劉少奇の名誉回復と毛沢東批判（斉茂吉）

22 卷 7 号（1980 年 7 月）

米中御推薦の国防強化

中・ソの狭間に生きる金日成（朴錫均）

波静かな台湾海峡（A・ビドフ）

22 卷 8 号（1980 年 8 月）

頭痛の種鄧麗君（テレサ・テン）の歌（劉曉梅）

22 卷 9 号（1980 年 9 月）

大平葬儀と米中弔問外交（森永和彦）

22 卷 10 号（1980 年 10 月）

危機迫る中国農業

日中の進展と韓国への影響（呉淇坪）

人間・毛沢東批判（高文雄）

毛沢東批判に関する秘密報告 華国鋒主席の毛沢東批判（インタビューに答えて）（王若水）

22 卷 11 号（1980 年 11 月）

“南京大虐殺”はなかった：その“虚構”を徹底的にあばく（木屋隆安）

22 卷 12 号（1980 年 12 月）

なし

23 卷 1 号（1981 年 1 月）

江青らの『政治裁判』始まる 正規のショーも竜頭蛇尾に？

江青の助命なげせぬ？

23 卷 2 号（1981 年 2 月）

なし

23 卷 3 号（1981 年 3 月）

中共の法制を分析する（馬漢宝）

23 卷 4 号（1981 年 4 月）

中国大陸に紅幫復活

中国の近代化と建設計画の中止（森永和彦）

米・ソ・中共の三角関係（陳裕清）

華国鋒の失脚（鄭竹園）

23 卷 5 号（1981 年 5 月）

毛沢東の予見・文革は続く（大曲直）

中国共産党『中央工作會議』の全貌

江青の獄中手記『私と鄧小平の闘争』

第 26 回党大会における中国批判（O・ポリソフ）

23 卷 6 号（1981 年 6 月）

岐路にたつ共産経済体制（森永和彦）

23 卷 7 号（1981 年 7 月）

現代中国・苦悩の実態（小川平四郎）

23 卷 8 号（1981 年 8 月）

中国社会主義経済の諸問題（蘇紹智）

『蘇氏と私の出会い』（高橋正雄）

中越戦争は再発するか（山崎太喜男）

中国大陸に明日はない！（木屋隆安）

23 卷 9 号（1981 年 9 月）

“病める獅子”中華人民共和国 新軍閥『黄安県』グループ台頭（木屋隆安）

中国軍部の指導権抗争（劉真中）

23 卷 10 号（1981 年 10 月）

胡耀邦・新主席誕生の背景（康銘淑）

23 卷 11 号～12 号 なし

24 卷 1 号（1982 年 1 月）

北朝鮮と中国の確執（全富徳）

24 卷 2 号（1982 年 2 月）

日本人の中国観変遷（西平重喜）

24 卷 3 号（1982 年 3 月）

新中国汽車旅行見聞録（長山義男）

24 卷 4 号 (1982 年 4 月)

鄧小平の“貞観の治”(木屋隆安)

中ソ対立時代と日本業界の変遷 (喜入亮)

24 卷 5 号 (1982 年 5 月)

中国の恐怖, 回教諸族 (木屋隆安)

24 卷 6 号 (1982 年 6 月)

中国旅行雑感 (長山義男)

24 卷 7 号 (1982 年 7 月)

なし

24 卷 8 号 (1982 年 8 月)

新局面を迎えた米中ソ関係 (田久保忠衛)

日台経済摩擦の行方 (廣川浩然)

24 卷 9 号~11 号

なし

24 卷 12 号 (1982 年 12 月)

東南アと日本の対中関係批判 (張超英)